

優しさと
いたわりで築く
福祉の輪
—福祉標語入選作品から—

笠間市社協 宍戸支部だより

第124号

令和元年6月10日発行

発行 笠間市社協宍戸支部長 雨谷 高市
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

施策

- 1 地域住民とともに社協活動への理解を深め、会員の確保に努める。
- 2 区長会、民生委員・児童委員協議会、高齢者クラブ及びまちづくり宍戸塾との連携を図る。
- 3 笠間市社協との連携を強化し、他支部との交流を進める。
- 4 福祉推進員の資質向上に資する研修会及び視察研修を実施する。
- 5 児童福祉事業の充実を図る。
(1) 小学校との連携を密にした「三世代交流事業」への協力
(2) 子ども会、スポーツ少年団活動等への援助
(3) 地域の教育環境整備及び登下校見守り活動に協力
- 6 北山公園桜まつりに参加協力する。
- 7 社協宍戸支部会館を会場とする「介護予防の運動・体操教室」に協力する。
- 8 各専門委員会の事業
(1) 青少年健全育成委員会
(ア) 青少年健全育成及び安心して住める地域を目指す「地区懇談会」の開催
(イ) 「小学生夏休みものづくりわくわく体験」実施
(ウ) 子どもを見守るプロジェクト活動の推進
(2) 女性部
(ア) 高齢者を対象とした毎月1回の「配食サービス」を実施
(イ) 福祉意識高揚を目指した「福祉バザー」の開催
(ウ) 女性部員の特性を生かした「手づくり会」の実施
(エ) 資質向上に資する研修会及び視察研修の実施
(3) こぶしの会
(ア) 「配食サービス」時、高齢者との交流活動の実施
(イ) 高齢者によるグラウンドゴルフ大会(年2回)に対する援助活動の実施
(ウ) 「ししどサロン」を開催し、より充実した高齢者福祉を推進
(エ) 高齢者を対象とした市外研修会(自然観察会)の企画・運営
(4) 広報委員会
(ア) 「宍戸支部だより」第124号～126号の発行
(イ) 研修会及び視察研修への積極的参加
(ウ) 広報関係諸団体との交流促進

支部役員

支部長 雨谷 高市 旧陣屋2
副支部長 山本 信子 旧陣屋3
同 長谷川良亮 上町
・専門委員会委員長(部長)各1名 (2面に掲載)
・支部委員 各行政区1名 (2面に掲載)
会計 関 令子 橋爪2
同 米川 雄一 旧陣屋2
監事 瀬谷 雅彦 松山団地3
同 桑島 健 南小泉2
同 海老澤征子 旧陣屋2
顧問 根本 芳雄 大田町2
同 伊東 勝男 中町



▲代議員会(支部会館で)

方針

笠間市社協宍戸支部は、笠間市で唯一活動の拠点である支部会館を持っています。当支部はその利便性を十分に生かし、青少年健全育成委員会、女性部、こぶしの会、広報委員会などの専門委員会が中核となり、子どもから高齢者まで幅広い事業を推し進めてまいり

ました。今後さらに、組織を充実し各関係機関、各種団体との連携を図り、宍戸地区の皆様との力を得ながら、地域に密着した事業を推進してまいります。

ようこそ“令和”

役員改選の年となる平成最後の代議員会が4月20日支部会館で行われた。社協関係者ら82人が出席するなか新役員が決まった。少子高齢化時代のなか、宍戸地区に於い

ても人口減少と高まる高齢化率が気になる。令和時代の幕明けと共に、それぞれが思いを新たに宍戸支部社協の活動にいつそう拍車がかかる事を期待したい。

新たな時代に期待大 地域のみなさんの幸せを願って

代議員会

平成30年度 決算報告 H30.4.1～H31.3.31

| 収入の部 (単位:円) | | | |
|-------------|-----------|-----------|--------|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増△減 |
| 繰越金 | 150,732 | 150,732 | 0 |
| 還元金 | 880,000 | 878,500 | △1,500 |
| 助成金 | 163,000 | 162,850 | △150 |
| 事業収入 | 420,000 | 489,651 | 69,651 |
| 寄付金 | 10,000 | 15,000 | 5,000 |
| 雑収入 | 24,000 | 24,002 | 2 |
| 合計 | 1,647,732 | 1,720,735 | 73,003 |

| 支出の部 (単位:円) | | | |
|-------------|-----------|-----------|----------|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増△減 |
| 会議費 | 15,000 | 13,656 | △1,344 |
| 事務費 | 10,000 | 9,907 | △93 |
| 事業費 | 1,520,000 | 1,406,018 | △113,982 |
| 雑費 | 35,000 | 32,400 | △2,600 |
| 連絡調整費 | 15,000 | 12,896 | △2,104 |
| 予備費 | 52,732 | 0 | △52,732 |
| 合計 | 1,647,732 | 1,474,877 | △172,855 |

収入合計1,720,735円-支出合計1,474,877円=残金245,858円 次年度へ繰り越し

平成31年度 予算書 H31.4.1～R2.3.31

| 収入の部 (単位:円) | | | | |
|-------------|-----------|-----------|---------|--|
| 項目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 増△減 | 付記 |
| 繰越金 | 245,858 | 150,732 | 95,126 | 前年度繰越金 |
| 還元金 | 880,000 | 880,000 | 0 | 会員会費還元金(会員会費助成額) |
| 助成金 | 163,000 | 163,000 | 0 | 福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 88,000 宍戸小PTA助成金 25,000 |
| 事業収入 | 430,000 | 420,000 | 10,000 | 福祉バザー収益金・桜まつりバザー収益金・ふるさとまつり収益金 女性部手づくり収益金 配食個人負担金 |
| 寄付金 | 10,000 | 10,000 | 0 | 地域からの寄付金 他 |
| 雑収入 | 24,000 | 24,000 | 0 | まちづくり宍戸塾よりコピー機リース代 利子 他 |
| 合計 | 1,752,858 | 1,647,732 | 105,126 | |

| 支出の部 (単位:円) | | | | |
|-------------|-----------|-----------|---------|--|
| 項目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 増△減 | 付記 |
| 会議費 | 15,000 | 15,000 | 0 | 代議員会 両委員会合同打ち合わせ会 他 |
| 事務費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 封筒 コピー用紙 ボールペン 他 |
| 事業費 | 1,520,000 | 1,520,000 | 0 | 青少年育成費(地区懇談会等) 100,000 女性部活動費 100,000 こぶしの会活動費 70,000 広報紙発行費(支部だより3回分) 170,000 児童育成費(笠子連宍戸小支部活動) 50,000 視察研修費(25,000円×3回実施分) 75,000 体育費(宍戸小三世代交流事業) 60,000 研修会参加補助費 5,000 在宅福祉費(配食12回分) 330,000 高齢者補助費(高齢者クラブ) 50,000 区長会活動助成費 50,000 高齢者助成費(ししどサロン他) 150,000 需用費(電話・ガス・保険料・コピー機リース代他) 300,000 備品購入費 10,000 |
| 雑費 | 35,000 | 35,000 | 0 | 会館内コピー機カートリッジ代 |
| 連絡調整費 | 15,000 | 15,000 | 0 | 各事業実施へ向けての連絡経費 |
| 予備費 | 157,858 | 52,732 | 105,126 | |
| 合計 | 1,752,858 | 1,647,732 | 105,126 | |

※高齢者助成費(グラウンドゴルフ大会 春・秋開催 ししどサロン経費を含む)

支部委員

- 支部委員 長谷川良亮 上町
神野 廣嗣 中町
深澤 一雄 下町
桑島 利光 橋爪1
畑中 孝 橋爪2
江田 修 矢野下上郷
島田 信吾 大古山
水越 裕子 ベリオリナ会
山中 英男 南小泉1
塩畑 敏美 南小泉2
島田 輝彦 南小泉3
星野 登 下加賀田
前嶋 晃司 旧陣屋1
雨谷 高市 旧陣屋2
小野瀬 彰 旧陣屋3
海老澤尚壽 小人町
桑野 晶雄 八反山
細田 義人 星山
出口 澄夫 大田町1
藤増 幸博 大田町2
原田 功 松山団地1
海老澤佐賀恵 松山団地2
戸崎 富雄 松山団地3
河原井盛夫 松山南団地
石川 敏之 松山アパート
櫻井 進 八幡下
八木沼 清 ひばりヶ丘団地
鬼澤 康昭 バックダンク会

青少年健全育成委員会

- 委員長 松田 薫 旧陣屋1
副委員長 市毛 正明 旧陣屋1
関 令子 橋爪2

女性部

- 部長 小菅 栄子 中町
副部长 上沼みどり 星山
大根 法子 矢野下上郷
小川 福子 旧陣屋1
関 令子 橋爪2
藤木喜代子 大田町2

こぶしの会

- 委員長 羽生 力 松山南団地
副委員長 山中 一義 南小泉1

広報委員会

- 委員長 山本 弘子 大田町2
副委員長 小川 福子 旧陣屋1

民生委員・児童委員協議会

- 民生・児童委員 小菅 栄子 中町
桑島 裕子 橋爪1
武田 富雄 南小泉1
横倉 一男 大古山
幾浦 正道 旧陣屋2
青野 民男 旧陣屋3
仲野よし子 大田町1
藤木喜代子 大田町2
磯部佐智恵 松山団地2
芥川 麗子 松山団地3
岩田 幸雄 八幡下

お知らせ

- 1 社協会員募集の頃となりました。誰もが幸せに暮らせるために、会費の納入にご協力をお願いします。
2 子どもから高齢者まで安心安全に暮らせるまちづくりを目指して「地区懇談会」を6月22日から開催します。地域や家庭で困っていることなどありましたらお聞かせ下さい。
3 5月25日に行われた福祉バザーで291,200円の収益がありました。ご協力ありがとうございました。

まちの声・むらの声

最初に支部長の挨拶があつてラックスしたところで会が始まりました。かねて地域のことももつとよく知りたいと思つていましたところ、近所のお友達に誘われたのをきっかけに、社会福祉協議会共戸支部会館に於ける集會に参加して有益な話を聞いたり、楽しい話に参加する機会を得ました。2月16日のことでした。
會館では、有名な童謡詩人野口雨情の歌詞が載っている冊子をお借りしました。「七つの子」「ジャボン玉」などの歌を三人のハーモニカに合わせて合唱しました。雨情の歌に、実生活が現れており改めて地域に親しみを覚えました。
続いて、南先生の夫戸の歴史の話の中で八幡下遺跡分布図を頂き、昔の八幡下の様子などを聞きました。八幡下、矢野下、大沢などの歴史では印刷物が配布され、事細かなお話を聞きました。また、平成8年の工事中に須恵器の蔵骨器を出したとき、笠間

「ししどサロン」の楽しさ実感



八幡下 栗村紀久子

たずねてみたら No.99 超高齢化社会を生きる

新栄戸支部長 雨谷高市さん 旧陣屋2



現在、既に、日本は世界に先駆けて超高齢化社会に突入している。母が入院中の3年前、若い医師が「近い将来日本の医療制度は崩壊する」と危機意識を露わにしていたが、そうなるって一番困るのは、まさに我々の世代だ。
という私は、ちょうど古希である。夫婦のみの世帯で、家を継ぐ者もなく、間近に家族崩壊の危機が迫っている。これを座して見ているだけでは、何の解決にもならないのはわかつていうつもりだ。
元々私には、酒飲みくらいで、趣味と言えるものはない。後悔をすることもあるが、今さら何を、という感じである。
そんな私に、定年後声をかけられたのが、社協は、地域の皆さんの善意で成り立つ民間組織である。
その善意に応えるためにも、高齢者が、この共戸に住んでよかったと思える雰囲気づくり、地域づくりに一翼を担えればと考えている。

喜び感じる お弁当作り



星山 上沼みどり

私が社協女性部に入ったのは8

市文化財に指定されたようです。これらは市立歴史民俗資料館に展示されているようです。
笑いヨガで体を動かし、お話をして下さる人がいたりして、明るい雰囲気を醸し出してくださいました。最後に楽しいビンゴゲーム。お土産も頂き有難うございました。これからこのように楽しい機会をもうけて頂きたいと思えます。
3年前に仕事を辞めたのを機に女性部活動に参加させてくださいました。これからは、お顔は見えないという方が大勢いらっしゃると思いますが、社協活動に参加させていただけたいと思っております。
私自身も高齢者ですが、これからは何かお役に立てることがあれば、微力ではありますが、協力させていただきます。
活動の一つに一人暮らしのお年寄りへお弁当を届ける「配食サービス」があります。月に1回ですが、女性部がお弁当を作り、こぶしの会が配達します。
このお弁当がお年寄りの皆さんに大変喜ばれていると聞き、私もとてもうれしく思っています。今年度から私はこの配食の担当

編集委員

- 山本 弘子
小川 福子
羽生 力
塩畑 敏之
長山 春江
中塚久美子